

## 企業・NPO等支援団体の専門性を生かした 100以上の多様な内容の教育プログラム

「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」において、高校生が、「基礎的・汎用性能力」を身に付けるとともに、実際の社会の姿を学び、より良い生き方を選択し、行動していく意欲を持つことができるように、「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」※の会員団体である企業や大学・NPO等と学校との連携を進めながら、下表に掲載しているように、教育プログラムの充実を図っています。

また、実施に当たっては、必ず事前に学校と支援団体とで打合せを行い、キャリア教育の目的、年間計画の位置付け、生徒の様子、活用する時期、前後の学習活動等を踏まえて、教育プログラムを効果的に活用できるように、授業当日に向けての内容や進行、教材等をアレンジしながら、学校ニーズに合わせて実施しています。

### ※ 地域教育推進ネットワーク東京都協議会

企業・大学・NPO等とのネットワークをつくり、子供たちに豊かで、多様な体験学習活動が提供できるようにサポートし、活性化していく仕組みづくりを目指して、東京都教育委員会が平成17年8月に設置しました。現在、500を超える企業・大学・NPO等とのネットワークへと広がっています。

### ★ 社会人と出会い、話し、働くことの意義や役割を学び、考える

- ・各教室に社会人が入り、生徒と質疑応答がしやすい形での講演
- ・社会人講師とファシリテーター（進行役）が各教室に入り、社会人から話を聞き、ファシリテーターがインタビューの見本を見せる。小グループでインタビュー体験
- ・体育館等の広い会場に、20名程度の社会人がコーナーを作り、生徒は3名の社会人から25分ずつ話を聞く。事前学習時に社会人のプロフィールを紹介し、生徒は、興味のある講師を事前に選んでおく。
- ・新入社員から、高校・大学時代の生活や仕事を選んだ理由、現在の仕事についての話を聞く。
- ・社会人と生徒代表がパネラーとしてディスカッション。出された課題についてグループで話し合い、発表する。



### ★ 働くための基礎知識を学び、将来設計を考える

- ・お金について考える。
- ・ライフプランや将来の家計シミュレーション、経済や金融の仕組み、株式の仕組み
- ・労働法、賃金、保険等について学ぶ。

### ★ 専門学校・大学等の進学先について学ぶ

- ・大学生から、実際に使っているテキスト、時間割、写真等を活用した大学生生活の紹介と将来の夢等について聞く。
- ・大学の通常の授業に参加する。
- ・就職内定者から、高校時代の過ごし方、大学の選び方等を聞く。
- ・複数の専門学校が設置した職業別ブースで、職業人の指導を受けながら、様々な職業を体験する。



### ★ コミュニケーション・スキルを向上させる

- ・ゲーム的な内容から、小グループでの発表まで複数回で取り組む。
- ・いくつかのゲームで身体を動かし、短い演劇のシーンを創作し、発表する。



### ★ 課題対応能力を向上させる

- ・実在の企業から出されたミッションに、チームで取り組み、企画を提案する。
- ・模擬会社を作り、企業活動を体験。社会人が社外取締役としてサポートする。
- ・学校や地域の課題を調べ、解決策を話し合い、発表する。



### ★ 学校外でのキャリア教育プログラム(体験活動)に参加する

- ・企業を訪問し、見学と課題解決プログラム等を体験する。
- ・支援団体が実施する高校生対象のプログラムに参加する。